

八潮市公共施設マネジメントアクションプランの策定

老朽化の進む公共施設を今後どのように維持管理し、整備していくべきか、今後10年間の具体的な取り組みを示した「公共施設マネジメントアクションプラン」を策定しました。その概要を紹介します。

策定の経緯

市では、将来の需要を予測しながら、市の資産である「公共施設」を最も費用対効果の高い、安全・安心で効率的な管理を推進していく、「アセットマネジメント」の取り組みを進めています。

市内には、市役所や文化スポーツセンター、図書館、学校などさまざまな公共施設があります。

現在、これら公共施設の多くは、整備後30年から40年以上が経過しており、設備なども含め老朽化が進んでいます。また、公共施設を維持していくための費用の試算では、現状の施設規模のまま維持していくことが困難な状況となっています。

財政状況が厳しくなることが予想される中、これまで以上に公共サービスの質を高め、公共施設を少しでも良い状態で次世代に引き継ぐために、アセットマネジメントの取り組みを一層推進していく必要があります。

このたび、市の公共施設を今後どのように維持管理し、整備していくべきか、今後10年間の具体的な取り組みを示した「公共施設マネジメントアクションプラン」を策定しました。



公共施設マネジメントアクションプランの三つの柱

なるべく長く、施設を使い続けるにはどうしたら良いの？

長寿命化方針

公共施設をできるだけ長く、安全・安心な状態で利用するための基本方針を定めました。

【安全・安心を最優先】

利用者の安全・安心を最優先に考えて、十分な点検と修繕を行います。

【財政負担の軽減と平準化】

建物や設備が壊れてしまう前に対処する方法（予防保全）と、壊れてから対処する方法（事後保全）では、建物を維持するための費用に大きな差が生じます。

今後は、予防保全による計画的な修繕を行うことで、突発的な修繕を減らし、費用の軽減や平準化を目指します。

【適切な機能の維持】

適切な機能を維持するため

に日常点検を徹底し、故障箇所の早期発見・修繕に努めます。

問アセットマネジメント推進課 ☎470

今後10年間で、あの施設はどうなるの？

施設再編計画

公共施設を持続可能な量とバランスの取れた配置とするための基本方針を定めました。

【公共サービスの内容の見直し】

施設あつてのサービスではなく、サービスあつての施設であるという考えのもと、皆さんにとって真に必要なサービスを明らかにしたうえで、必要な公共施設を整備します。

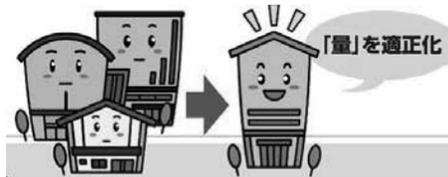
【全体最適の視点に基づく配置】

市民の皆さんが望む公共サービスを提供し、暮らしが豊かになるよう、市域や地域に配慮した施設配置を目指します。

【総量の適正化】

公共施設の維持管理が、無理のない範囲で取り組めるよう、身の丈にあった「量」を目指します。

ただし、削減だけが目的ではないため、皆さんが望むサービスを提供するために必要な施設は維持します。



老朽化する建物や設備の改修・更新はどうするの？市の財政でまかなえるの？

中長期保全計画

計画的な維持管理を行うことで、施設の安全・安心を確保するとともに、改修・更新に必要な費用の軽減や平準化するための基本方針を定めました。

【改修・更新の優先順位の明確化】

安全・安心の確保と公共サービスの継続の観点から、優先順位を決めて、順番に施設の改修・更新を行います。

【財政負担の平準化】

市の限られた財源の中で公共施設の維持管理と改修を適切に進めていく必要があります。ある年度に負担が偏らないよう平準化するため、改修に必要な費用を把握します。

リーディングプロジェクトの取り組みを始めます

アクションプランの中でも、特に優先して取り組む事業を「リーディングプロジェクト」として位置づけ、取り組みに着手します。

市役所が生まれ変わります！

市役所は、多くの市民の皆さんが利用する施設ですが、建築してから40年以上が経過していることもあり、誰もが利用しやすい施設とは言えない状況です。

また、災害が起きた場合に災害対策本部の役割を担う防災上重要な施設ですが、災害対策本部に求められる耐震性の基準を下回っています。

このプロジェクトでは、市役所の再整備に取り組むことで、市民の皆さんの安全・安心の確保と市民の皆さんが求めるサービスの質の向上を目指します。整備にあたっては、他の施設との複合化や集約化について検討します。



新しいスポーツ施設をつくります！

文化スポーツセンターは、健康・スポーツ活動の施設として、幅広い世代に必要とされている利用率の高い施設となっています。

また、地域の避難所にも指定されている防災上重要な施設ですが、避難所に求められる耐震性の基準を下回っています。現在は、利用者の安全性を確保しながら一定制限のもとで貸し出しを行っている状況です。

このプロジェクトでは、新たなスポーツ施設の整備に取り組むことで、利用者の皆さんの安全・安心の確保と、市民の皆さんがスポーツに親しみ、健康で生きがいに満ちた活動の場をつくることを目指します。



市では、これまで、文化スポーツセンターの耐震化方針の決定に向け、さまざまな検討や市民からの意見募集（パブリックコメント）などを行ってきました。こうした検討などを踏まえ、文化スポーツセンターについては「建替えにより耐震化を図る」方針を決定しました。

資産を有効に活用します！

このプロジェクトの取り組みは、市の限られた財源の中で効率的かつ効果的に実施しなければなりません。そのために、市が保有している公共施設で、現在使われていない、あるいは、廃止が予定されている施設の跡地活用について、賃貸や売却をすることにより、費用を生み出し整備に充てるなど、財政負担の軽減を目指します。



今後、リーディングプロジェクトの取り組みにあたっては、民間事業者が持っている知識やノウハウ、資金などを活用し、効果的かつ効果的に公共サービスが提供できる方策について検討します。

また、リーディングプロジェクトでは、公共施設の整備をきっかけとした、施設周辺のにぎわいや魅力あるまちづくりにつなげていくことを目指します。